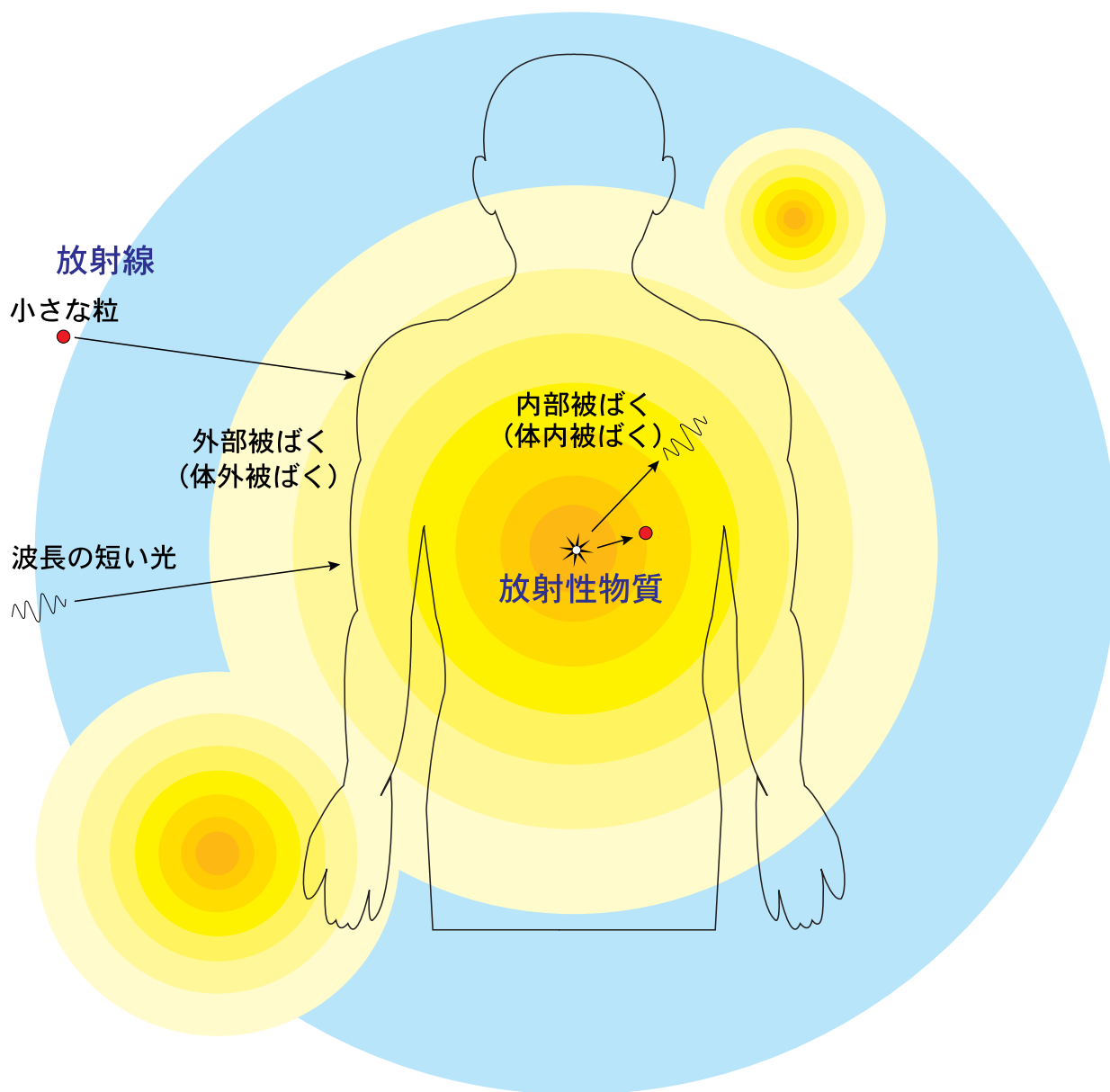


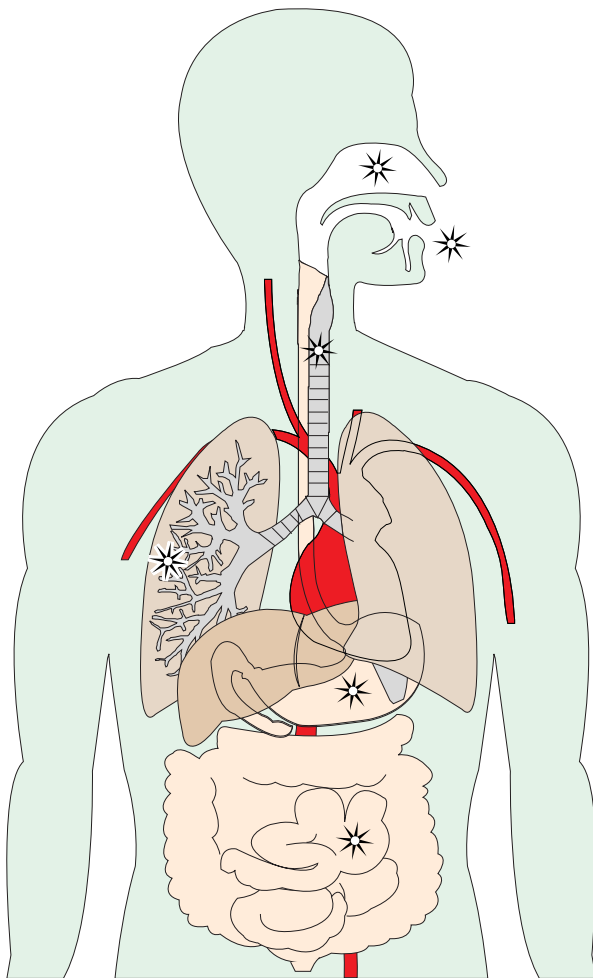
体内の放射性物質

放射線は、体外から人体に当たるだけではなく、体内の放射性物質からも放射線が出て人体に当たります。これを内部被ばくまたは体内被ばくと言います。



食物に含まれる放射性物質は、飲食によって口から入り、一部が胃腸で吸収されて血液とともに体内の各組織へ送られます。

空気中の放射性物質は、呼吸によって肺に入り、一部が肺に留まります。



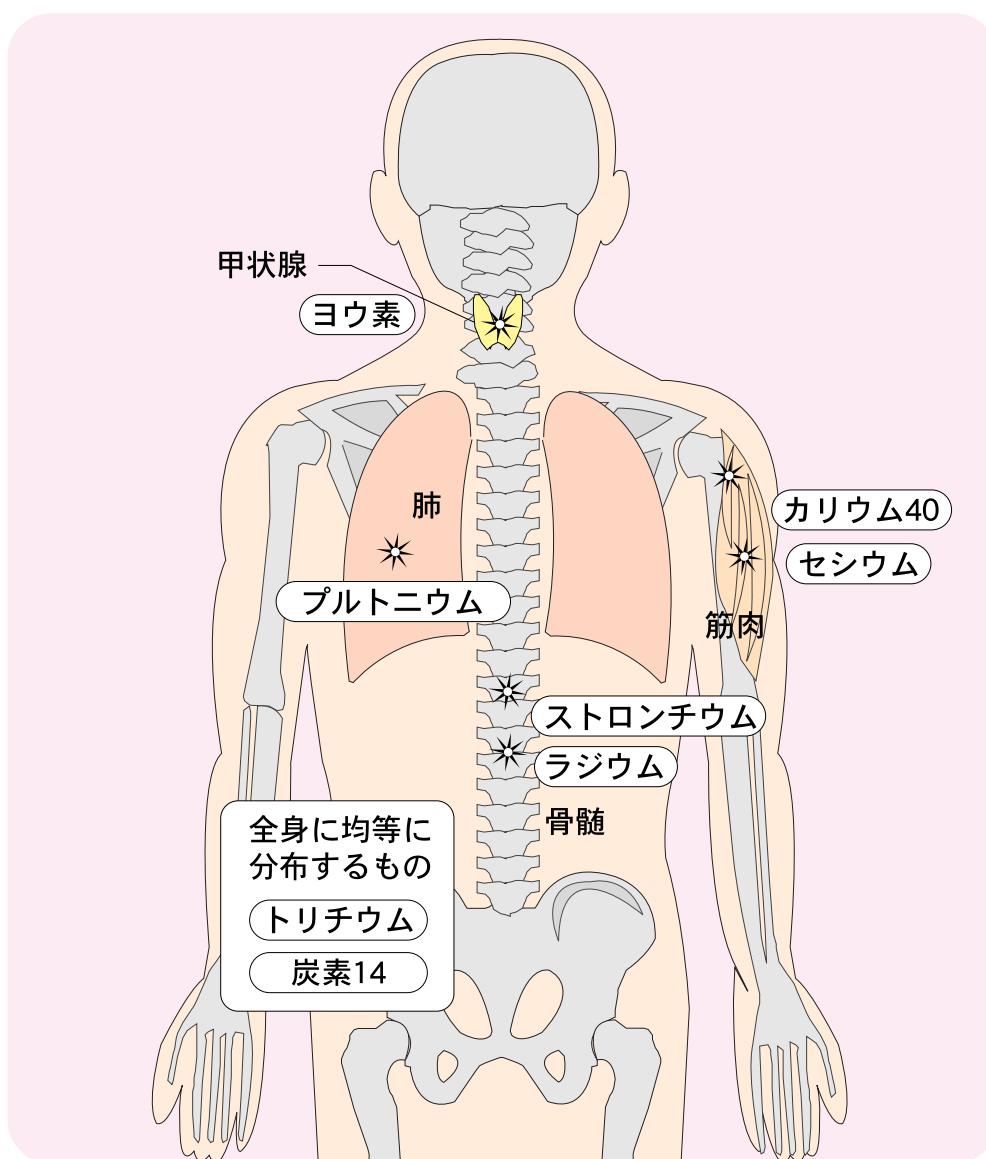
放射性物質の胃腸での吸収率

| 放射性物質 | 消化管吸収率 |
|---------|---------|
| トリチウム | 1.0 |
| 炭素14 | 1.0 |
| ストロンチウム | 0.3 |
| ヨウ素 | 1.0 |
| セシウム | 1.0 |
| ラジウム | 0.2 |
| プルトニウム | 0.001以下 |

放射性物質は、各組織に蓄積した後に腎臓などから体外に出ます。蓄積のしやすさは、放射性物質の化学的性質や組織によって異なります。

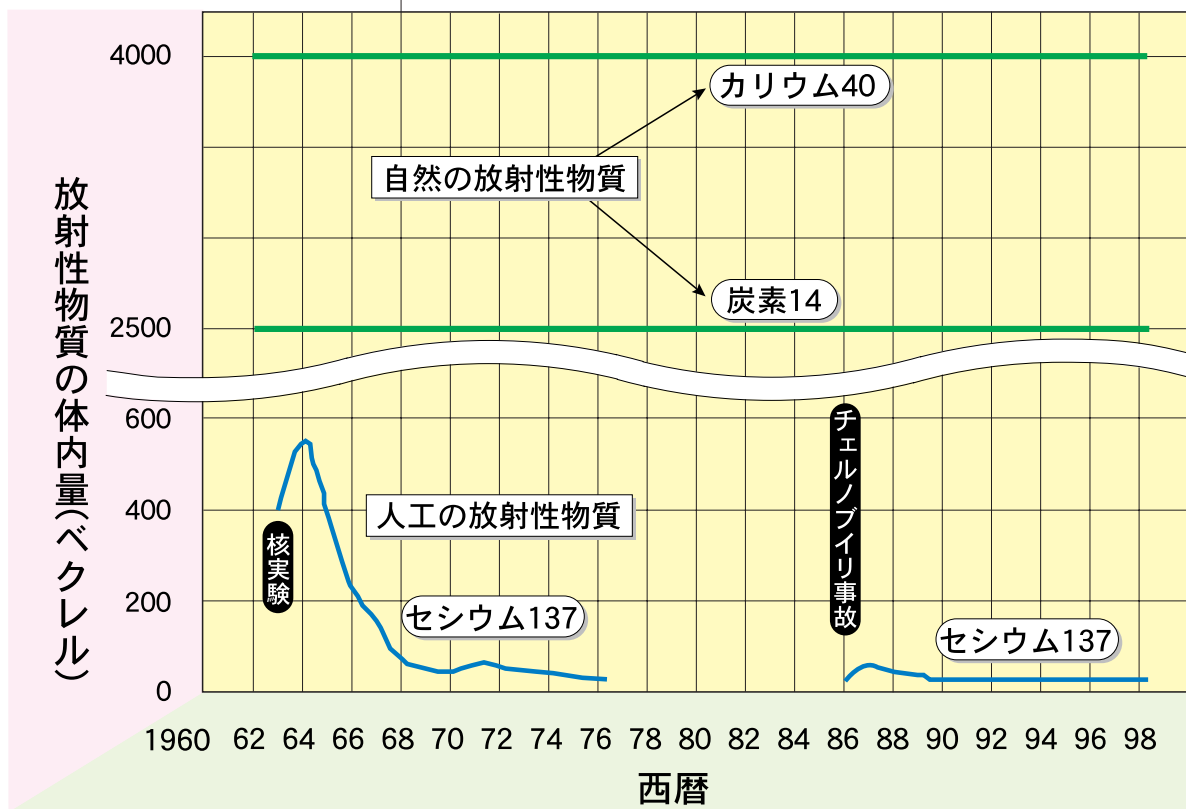
各組織に蓄積した放射性物質から放射線が出て、体内から人体に当たります。

組織毎の蓄積しやすい放射性物質



核実験などによって空気中に放出された人工の放射性物質や、自然の放射性物質が、私たちの体内に蓄積した後に体外に出ています。

日本人の体内の放射性物質の経年変化



環境研サイエンスノート No.14

平成15年度 作成・印刷

財団法人 環境科学技術研究所 広報・研究情報室

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駱字家ノ前1番7
TEL 0175-71-1200 (代表) FAX 0175-72-3690

このパンフレットは、文部科学省の委託により、
財団法人環境科学技術研究所が作成したものです。